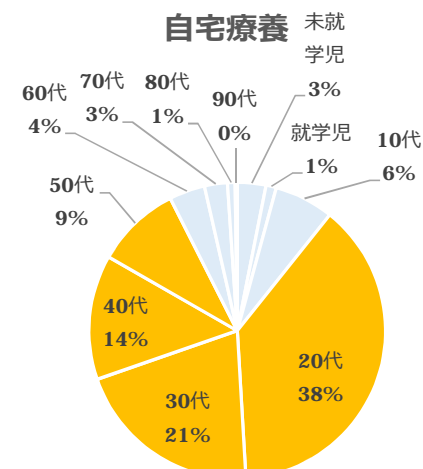
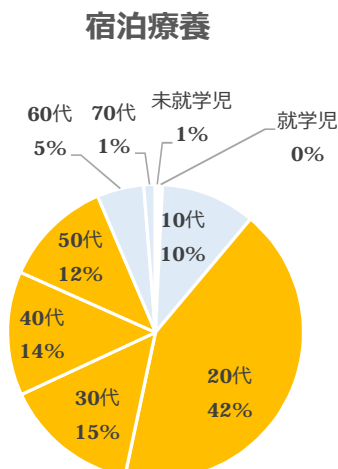
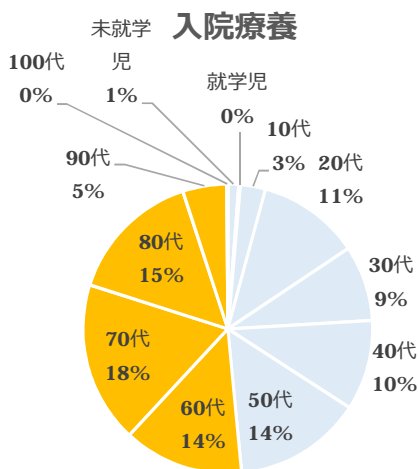


療養方法別年齢区分（12月21日時点）

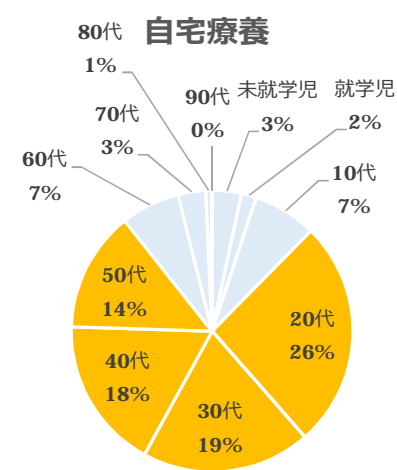
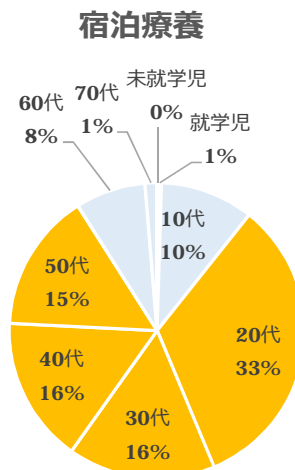
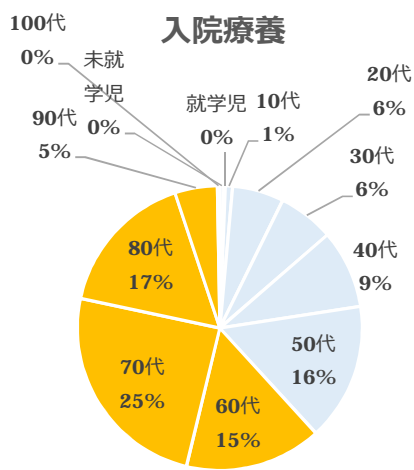
参考資料 1 - 3

- 対象：【第二波】令和2年6月14日から10月9日判明分（1,787例目から11,059例目までの9,271例）のうち、死亡を除いた9,129名（重症例含む）。
 【第三波】令和2年10月10日から11月15日判明分（11,060例目から15,423例目までの4,364例）のうち、死亡を除いた4,283例（重症例含む）。

第二波

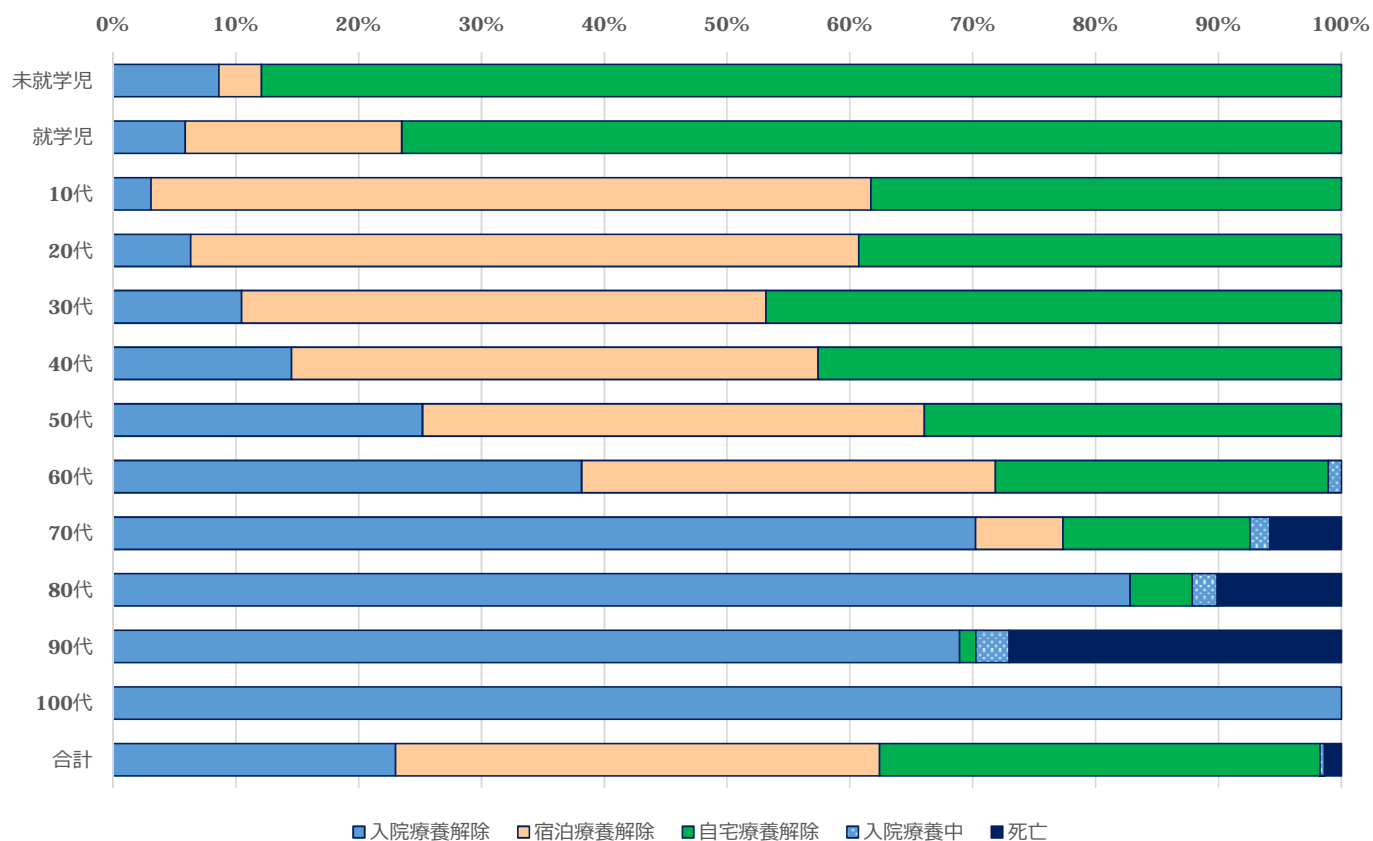


第三波



無症状・軽症患者の療養方法（12月21日時点）

■対象：令和2年10月10日から11月15日判明分（11,060例目から15,423例目までの4,364例）のうち、4,226例（重症除く）。



※クラスター発生施設において療養している場合は、自宅療養に分類されている場合あり

	入院療養	宿泊療養	自宅療養
未就学児	8.6%	3.4%	87.9%
就学児	5.9%	17.6%	76.5%
10代	3.1%	58.6%	38.3%
20代	6.3%	54.4%	39.3%
30代	10.5%	42.7%	46.8%
40代	14.5%	42.9%	42.6%
50代	25.2%	40.9%	33.9%
60代	38.6%	34.0%	27.4%
70代	75.9%	7.7%	16.4%
80代	94.3%	0.0%	5.7%
90代	98.1%	0.0%	1.9%
100代	100.0%	0.0%	0.0%
(再)40歳未満	7.2%	49.3%	43.5%
(再)40～59	19.9%	41.9%	38.3%
(再)60～79	54.7%	22.7%	22.7%
(再)80歳以上	95.2%	0.0%	4.8%
全体	23.4%	40.1%	36.5%

陽性者（重症、死亡、府外除く）のうち、23.4%は入院療養、40.1%は宿泊療養、36.5%は自宅療養であった。
年代により療養方法には差があった(40歳未満では約7%が入院に対し、60～70代では54%、80代以上では90%以上が入院)。

無症状・軽症患者の療養方法（12月21日時点）

- 対象：令和2年10月9日から11月15日判明分（11,060例目から15,423例目までの4,364例）のうち、4,168例（重症及び死亡除く）。
4,168例のうち、12月21日時点で療養解除となった者4,153名（退院：972名、宿泊療養解除：1,666名、自宅療養解除：1,515名）の
報道提供日から療養解除までの日数を算出。

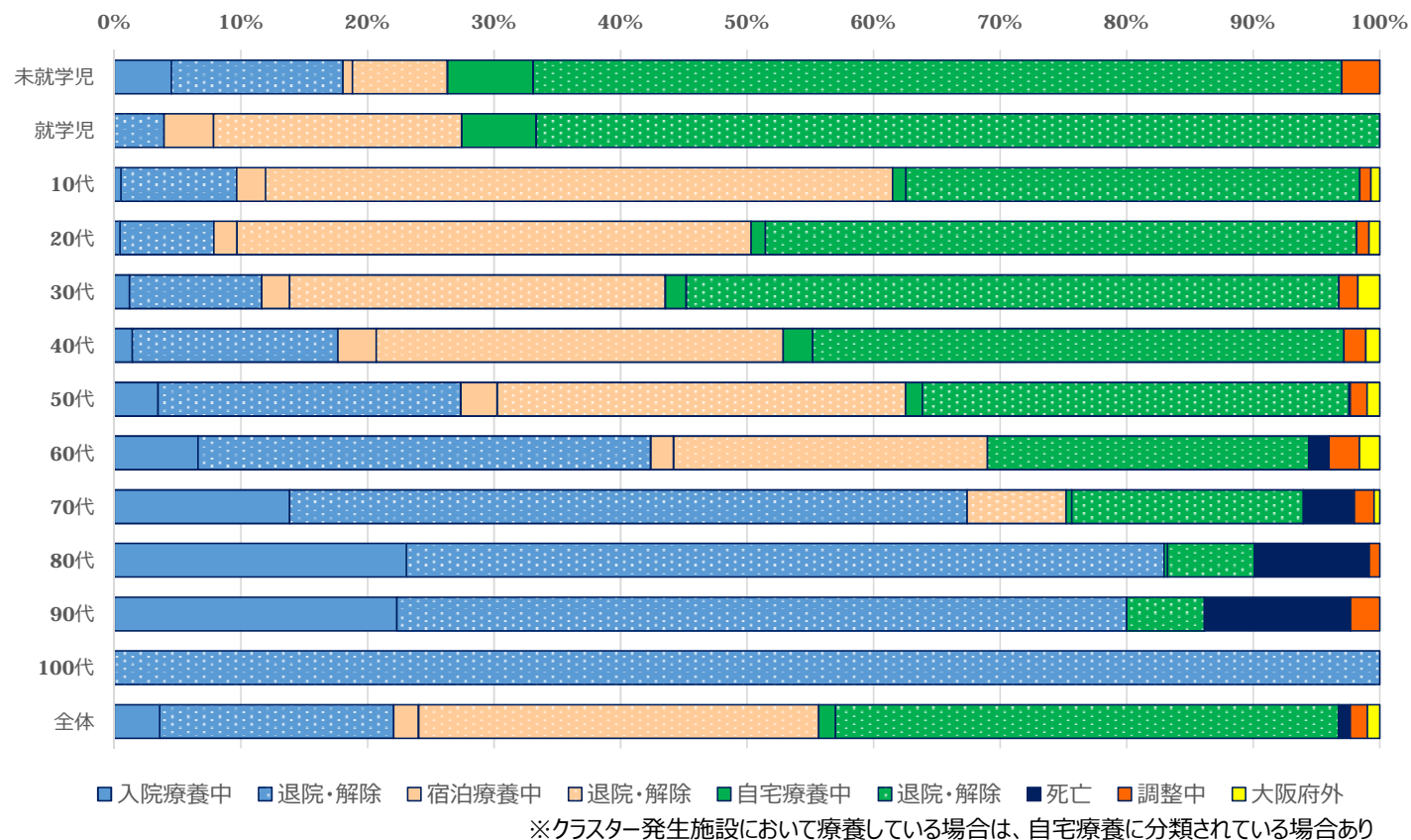
	入院療養		宿泊療養		自宅療養	
	解除人数	平均値±標準偏差	解除人数	平均値±標準偏差	解除人数	平均値±標準偏差
未就学児	5	8±3.16	2	6	51	6.98±2.61
就学児	2	11	6	7.71±1.98	26	8.32±2.26
10代	9	7.33±1.41	170	6.61±2.07	111	6.12±3.18
20代	64	9.14±2.84	550	6.50±1.98	397	5.19±3.40
30代	66	9.32±5.19	269	6.46±2.23	295	5.41±3.06
40代	90	10.15±3.63	266	6.84±2.33	264	5.52±2.88
50代	156	11.27±5.80	253	7.12±2.74	210	5.60±3.50
60代	145	11.99±6.93	128	7.35±2.19	103	6.05±3.42
70代	217	13.10±7.32	22	7.32±2.26	47	6.73±3.39
80代	164	15.12±8.00	0		10	5.25±3.49
90代	51	14.67±5.95	0		1	5
100代	3	16.67±2.87	0		0	
全体	972	12.36±6.78	1666	6.73±2.26	1515	5.64±3.26

※クラスター発生施設において療養している場合は、自宅療養に分類されている場合あり

療養期間の平均値は、入院療養が約12日、宿泊療養が約7日、自宅療養が約6日であった。年代が高くなるほど療養期間は長かった。

【参考 第二波】無症状・軽症患者の療養方法（9月21日時点） ※10/14協議会資料（参考資料2）を一部修正

■対象：令和2年6月14日から9月21日判明分（1787例目から10101例目までの8313例）のうち、8109例（重症除く）。



	入院療養	宿泊療養	自宅療養
未就学児	18.6%	8.5%	72.9%
就学児	3.9%	23.5%	72.5%
10代	9.8%	52.7%	37.5%
20代	8.0%	43.2%	48.7%
30代	12.0%	33.0%	55.0%
40代	18.2%	36.2%	45.6%
50代	28.1%	36.0%	35.9%
60代	44.9%	28.2%	26.9%
70代	71.7%	8.3%	20.0%
80代	92.1%	0.0%	7.9%
90代	92.9%	0.0%	7.1%
100代	100.0%	0.0%	0.0%
(再)40歳未満	9.5%	40.5%	50.0%
(再)40～59	22.9%	36.1%	41.0%
(再)60～79	57.6%	18.8%	23.6%
(再)80歳以上	92.3%	0%	7.7%
全体	22.8%	34.7%	42.5%

※調整中、府外、死亡を除く

陽性者（重症、死亡、調整中、府外除く）のうち、**22.8%**は入院療養、**34.7%**は宿泊療養、**42.5%**は自宅療養であった。
年代により療養方法には差があった(40歳未満では約10%が入院に対し、60～70代では約60%、80代以上では90%以上が入院)。

【参考 第二波】無症状・軽症患者の療養方法（9月21日時点） ※10/14協議会資料（参考資料2）

- 対象：令和2年6月14日から9月21日判明分（1787例目から10101例目までの8313例）のうち、8031例（重症及び死亡除く）。
 8031例のうち、9月21日時点で療養解除となった者7290名（退院：1501名、宿泊療養解除：2565名、自宅療養解除：3224名）の
 報道提供日から療養解除までの日数を算出。

	入院療養		宿泊療養		自宅療養	
	解除人数	平均値±標準偏差	解除人数	平均値±標準偏差	解除人数	平均値±標準偏差
未就学児	18	8.89±3.97	10	7.4±1.28	85	6.72±2.74
就学児	2	7±2	10	7.7±1.19	34	6.59±2.61
10代	52	7.67±2.75	282	6.85±2.71	204	3.92±3.22
20代	204	8.23±3.62	1116	6.39±2.19	1283	3.30±2.85
30代	133	8.77±4.64	378	6.82±2.51	656	3.31±2.71
40代	161	9.58±4.36	319	6.89±2.21	416	4.01±3.08
50代	216	10.67±4.85	291	7.23±2.44	304	4.06±3.21
60代	179	11.06±4.60	124	7.11±2.73	127	3.89±3.38
70代	240	12.82±7.51	35	7±2.72	82	5.18±3.84
80代	218	14.60±7.35	0		25	6.44±3.80
90代	75	16.16±8.57	0		8	9±4.18
100代	3	11.67±3.86	0		0	
全体	1501	11.16±6.21	2565	6.71±2.38	3224	3.74±3.08

※クラスター発生施設において療養している場合は、自宅療養に分類されている場合あり

療養期間の平均値は、入院療養が約11日、宿泊療養が約7日、自宅療養が約4日であった。年代が高くなるほど療養期間は長かった。